

さかいの
玉手箱

丸岡城編

坂井市教育委員会文化課

TEL.0776-50-3164
〒919-0592
福井県坂井市坂井町下新庄1-1

坂井市教育委員会文化課

文化が地域をつなぐ架け橋になって
人と人とを結んでいく。
坂井市の大切な「時」が伝わっていくことを
願って玉手箱に納めました。

たくさん知ろう坂井市のこと。

MAP

坂井市三国町

日向神楽 06

丸岡藩砲台跡 08

国立公文書館
09 越前国丸岡城之絵図

丸岡城
03 丸岡城天守
04 鬼瓦

国神社
05 絹本著色白山参詣曼茶羅図
01 滔浮檀金千手観音

02 鯨
霞のタブノキ

07 有馬家歴代墓所
(高岳寺)

豊原寺跡 09

本多家歴代墓所
(本光院)

丸岡 IC

4



01. 霞のタブノキ 坂井市丸岡町霞町1丁目60

丸岡城の外堀沿いの土手に植えられたもので、かつての城下町の名残をとどめています。昭和23年(1948)の福井地震でも焼失を免れました。



02. 鯨(丸岡城天守) 写真はマチヨリマーケット展示室 坂井市丸岡町霞町4丁目12

昭和の戦時中に行われた丸岡城天守の解体修理に際し、木製の鯨に代わり取り付けられたものです。石川県小松市で産出した滝ヶ原石でつくられています。(鯨は魚の体に虎の頭を持つ神獣で、火除けの守り神とされました。)



03. 丸岡城天守 坂井市丸岡町霞町1丁目59

二重三階の望楼型、石瓦葺き、通し柱のない構造が特徴で、江戸時代の寛永年間(1624~44年)に築城されたと考えられています。全国で12しかない江戸時代以前の天守(現存天守)の一つです。



04. 鬼瓦(丸岡城天守) 坂井市丸岡町霞町1丁目59

現存する12天守のなかで、唯一の石製の鬼瓦です。足羽山(福井市)で産出した笏谷石でつくられています。魔除けのため東西に配置されています。



05. 絹本著色白山参詣曼茶羅図(国神社蔵) 坂井市丸岡町石城戸町1丁目2

平泉寺(勝山市)とそこから白山頂上(禅定)に至る道のり(修行場)を描いた室町時代の参詣曼茶羅図です。一向一揆で焼失する前の平泉寺の様子を伝える数少ない資料です。





ひょうが かぐら
06.日向神楽(八幡神社) 坂井市丸岡町長畝

福井県内唯一の天岩戸神話を題材にした神楽で、毎年9月第3土曜と日曜に奉納されています。丸岡藩主となった有馬家とともに日向国(宮崎県)から伝わり、かつては城下の神社でも奉納されていました。現在も長畝日向神楽保存会で舞が継承されています。



07.有馬家歴代墓所(高岳寺) 坂井市丸岡町篠岡23-8

江戸時代中期の元禄年間に丸岡藩主になった有馬家の墓所です。歴代藩主やその妻、殉死者などの五輪塔が並んでいます。



ほうだいあと
08.丸岡藩砲台跡 坂井市三国町梶

嘉永5年(1852)、丸岡藩が外国船の脅威から沿岸防備のために築きました。設計者は藩の砲術家 栗原源左衛門と伝わり、当時の海防体制の一端を伝える史跡です。



とよほらじあと
09.豊原寺跡 坂井市丸岡町豊原

大宝2年(702)に泰澄大師が開いたとされ、中世には多くの坊舎が建ち並びました。越前国内では平泉寺(勝山市)と並ぶ有力寺院でしたが、天正3年(1575)織田信長の一向一揆制圧により焼失しました。現在は史跡として保護されています。



えちぜんこくまるおかじょうのえず
10.越前国丸岡城之絵図(国立公文書館蔵)

江戸時代初期の城や城下町の様子を伝える絵図です。天守や石垣、堀の配置など、丸岡城の歴史を知る手がかりになっています。絵図を参考にした「丸岡城下町再生古地図」では、現在の地図との比較ができます。



えんぶだんごんせんじゅかのん
11.滔浮檀金千手観音(國神社蔵)
坂井市丸岡町石城戸町1丁目2

厨子に入った小さな金銅仏で、丸岡藩本多家の守護観音ともいわれています。國神社に保管されています。



べんざいてんどう
12.弁才天像(観音洞) 坂井市三国町梶

越前松島の岩穴の中にある弁才天像で、元禄7年(1694)に丸岡藩主本多家の家臣の武藤六郎兵衛によって祀られました。また近くの岩穴には本多家が寄進したと伝えられる石造の観音像も祀られています。



13.本多家歴代墓所(本光院) 坂井市丸岡町興3-3

丸岡藩主本多家の菩提寺の本光院にある墓所で、徳川家康の家臣の本多重次、またその子どもで丸岡藩本多家の初代成重、2代重能、3代重昭のそれぞれの墓(五輪塔)が並びます。